

令和7年度「#あおばな in 大館中学校」開催概要

県内の中学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和7年11月25日（火）10：30～11：45

○場所：八戸市立大館中学校 体育館

○参加生徒：全校生徒 292名

＜生徒との意見交換＞

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①国際交流及び地域のまつり、伝統文化の大切さ
- ②娯楽施設の充実及び県外経験
- ③奨学金制度の拡充及び医療従事者との交流機会の創出
- ④若者へのスポーツ振興及び子育て支援
- ⑤最低賃金について
- ⑥少子化対策及び自然環境と再生可能エネルギーとの共生

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・世界には多くの国や地域があって、それぞれに全く違う民族や人種、伝統文化がある。それらを知るために交流し、日本の中に取り入れることがとても大事。
- ・自分たちの力で祭りを盛り上げて、それを世界中に発信できるような仕組みを考えていく時間が皆さんにはあるので、ぜひ頑張ってほしい。
- ・県外に行くと、青森県の良さがすごくよくわかる。都会では高いお金を払わないと何もできないが、青森県では、澄んだ空気の中で生活したり、山を眺めたり、おいしい水やご飯を気軽に楽しむことができる。

＜対話ゲーム＞

意見交換の後、野球ボールを使ったゲームに約36名の生徒が参加し、対話の重要性について考えました。

